

高岡タイムトラベル



この写真は、昭和30年頃の浅野鉱山の写真です。仏壇磨きや米を精米するときに使われた「かち粉」や「磨き粉」となった「珪藻白土」を探掘し活況を呈していました。地下12メートルの地点をクモの巣状に広がる坑路は、すべて人力で掘り進められ、今でも全長20キロにも及ぶ巨大洞窟が広がっています。

洞窟の中は、年間を通して気温15℃前後を保っており、現在はサトイモやサツマイモ、球根などの農産物の貯蔵庫として利用されています。

当時のお話

下山田（中田地区）

あさの よしはる
浅野 与志治さん



約20年前の浅野鉱山